

セルビブリオ・ミクタス由来の β -マンノシダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1188

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ベータ-マンノシダーゼは、システム名ベータ-D-マンノシド・マンノヒドラーゼを持つ酵素です。この酵素は、以下の化学反応を触媒します：ベータ-D-マンノシド中の末端非還元性ベータ-D-マンノース残基の加水分解。この遺伝子は、グリコシルヒドラーゼ2ファミリーのメンバーをコードしています。コーディングされたタンパク質はリソソームに局在し、N-結合型糖タンパク質オリゴ糖の分解経路における最終的なエクソグリコシダーゼです。この遺伝子の変異は、広範な神経学的関与を持つリソソーム蓄積病であるベータ-マンノシドーシスに関連しています。

別名 β -マンノシダーゼ; マンナーゼ; マンナーゼ; β -D-マンノシダーゼ; β -マンノシド マンノヒドラーゼ; エクソ- β -D-マンナーゼ; EC 3.2.1.25; 9025-43-8

製品情報

由来	セルビブリオ・ミクタス
形態	3.2 M 硫酸アンモニウムで供給されます
EC番号	EC 3.2.1.25
CAS登録番号	9025-43-8
分子量	50300 Da
純度	> SDS-PAGEによって判断された95%
活性	40 U/mg
濃度	120 U/ml
最適pH	7 (6.5~7.5の間で安定)
最適温度	37°C (40°Cまで安定)
単位定義	1単位は、50 mMリン酸緩衝液 (pH 7.0) 中で、37°Cで1 mg/mlのBSAを含むp-nitrophenyl- β -mannopyranoside (アッセイ中1 mM) から1時間あたり1 μ molのp-nitrophenolを放出するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°Cで保管してください (常温で発送されます)